

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2012.8.20 第26号

■テレビでお馴染みの自然案内人 佐々木洋さん 講演会！

プロナチュラリストの佐々木洋さんに、自然の不思議さ・面白さについてお話を頂きます。楽しくて興味深いお話です。是非、ご来場下さい。

- 日時：9月30日(日) 開場 13:00 開演 13:30~15:30
- 講師：プロナチュラリスト 佐々木 洋さん
- 演題：「生きものが教えてくれること」
- 会場：富里中央公民館 4階 大会議室
- 入場：無料



プロフィール：1961年、東京都江戸川区生まれ。日本では数少ないプロのナチュラリスト(自然案内人)として、国内・外の各地をフィールドに、講演、執筆、写真撮影、テレビ・ラジオ番組への出演・監修など、幅広く活躍している。日本自然科学写真協会会員、日本自然環境専門学校講師。

出演番組：「こんにちは いっと6けん」NHK総合、「モリゾー・キッコロ森へいこうよ！」NHK Eテレ、「スーパーニュース」フジテレビ、「ピラメキーン」テレビ東京などにレギュラー出演。

主な著書：「ほくらはみんな生きている—都市動物観察記」、「それいけ！ネイチャー刑事」(全3巻)、「さんぽで発見いきもの100」など。

●秋のイベント「親子でザリガニ釣り大会」

粗末な釣竿に餌をつけただけで簡単に釣れるけど、やってみると意外と楽しいザリガニ釣り。谷津田で秋の気配を感じながら、ザリガニの他にも、たくさんの生き物に触れてみませんか？

- 日時：10月27日(土) 午前10時~午後1時 (注)雨天順延28日(日)
- 会場：天神谷津
- 集合：天神谷津隣接駐車場
- 会費：大人500円・小人100円(昼食代など)
- 定員：先着子供30人(保護者同伴のこ)
- 申込み：10/25(木)までに電話又はメールにて受け付けます。(注)“会員募集”欄参照

■その他：長靴やバケツ等をご持参ください。(釣り竿・餌は用意いたします) ※たくさん釣れた人には、ザリガニ釣り名人認定証などを差し上げます。



報告 田んぼでわいわい！ 富里第一小学校 自然観察会

昨年に続き6月19日、天神谷津で行われた富里第一小の総合学習「自然観察会」。田んぼの中を走り回ったり、いろいろな生き物を見つけたり、捕まったり…。その名前を私達に質問し、説明を聴いて「探検ノート」に書きとめたりと、楽しみながらの学びの機会になったと思います。子供達の意外な目線と、みずみずしい感性には、いつもながら驚かされます。天神谷津に、子供達の大きな声が響き渡っていました。



報告 天神谷津のヘイケボタル復活！

昨年、発生数が激減(一昨年の1/4、250匹程度)してしまい、心配された天神谷津のヘイケボタルですが、今年はピーク時に700匹弱が確認出来ました。とても多くの方々が訪れ、幻想的な光の舞いを目にして、感動なさっていました。 ※詳しくは裏面の「ホタル特集」をご覧ください。

案内 「環境学習指導者養成講座」(導入コース)参加者募集中！

本講座は、環境に関する知識を得るだけでなく、環境についての幅広い視点を養うとともに、地域で環境学習の指導をする地域のリーダーの養成を目的としています。当会の修了者は6名、小学校の自然観察会で役立っています。

- 対象：環境学習の指導経験がなく、これから何かやってみようと考えている方、環境活動を推進したいと考えている方
- 講座日程：下記のとおり(時間は各日原則として10:00から16:00まで)
第1回 9/8(土)・第2回 9/23(日)・第3回 9/29(土)第4回 10/13(土)・第5回 10/27(土)
- 会場：フクダ電子アリーナ、きぼーる、千葉県教育会館、千葉県文化会館 ■参加費：無料
- 申込み〆切：8/31(金)。8/30(木)までに電話又はメールにて受け付けます。(“会員募集”欄参照)

案内 「自然観察指導員養成講座」参加者募集中！

鳥や花の名前を憶えることが目的ではありません。自然のしくみ、自然のつながり、人が自然と今後どのようにかわっていったらいいのかなど、自然を守るために必要な視点を身につけるのが目的です。

- 対象：地域の自然観察会活動をすすめる意欲をもった方で、自然観察指導員講習会の全日程を受講できる方
- 日程：11/16(金)~11/18(日) ■定員：60名(申込み多数の場合は抽選)
- 会場：千葉県立手賀の丘少年自然の家(柏市泉)
- 参加費：17,000円(宿泊希望者は別途2泊4,000円が必要です)
- 受付期間：9/18(火)~10/5(金)。9/15(土)までに電話又はメールにて受け付けます。(“会員募集”欄参照)

★天神谷津★ いのち 生命のにぎわい

オニヤンマ(鬼蜻蜓)

7/22 撮影

体長は大きいもので10cmを超える日本最大のトンボ。緑色の複眼、黒色と黄色の縞模様、大きな体で悠然と飛翔する姿はまさにトンボの王者の風格があります。産卵が行われ幼虫が育つ水域は大規模な河川や湖沼ではなく、巨大な体に似合わず小規模で緩やかに水が流れるところ。最初はボウフラなど小さい虫を捕食しますが、やがてオタマジャクシや小魚、他のヤゴなどを捕食するようになり、強いものが大きくなります。産卵の場所、食性から見ると、ホタルに適した環境がオニヤンマにもそのままあてはまるどころか興味深いですね。オニヤンマが成虫になるまでの期間は実に4-5年といわれています。セミは約7年土の中で過ごしますが、オニヤンマだって負けないぐらい長い期間を水や泥の中で過ごしていたのです。天神谷津では7月以降、頻りにオニヤンマの抜け殻が見られるようになります。もちろん谷津の中を飛び回る姿が見られるのもその頃からです。(文・写真:山崎卓)



ヤゴから羽化したオニヤンマ

会員紹介

うへだ なつみ
上田 夏美さん (21才)



平成3年7月23日富里生まれ。現在富里から通学する大学3年生です。誕生日にちなんで、なつみ(7・2・3)と名付け、その名前になんで「夏みかん」を誕生記念樹として植えたそうです。近年は沢山実ります。富里南小、埼玉栄(中・高)、大学とずっと柔道漬けの毎日です。毎週土曜日には、キッズクラブの指導者として子供達に柔道を教えています。大学では関東学生団体優勝・全日本学生ベスト8。また今年7月には、関東学生柔道連盟の技術優秀選手の表彰を受けました。

天神谷津の作業には、スケジュール的になかなかお手伝いに行くのが難しいのですが、作業に参加させて頂いた時に、おじさん達(m(_)_m)が、楽しくまさに生き活きと頑張っていて、きっとホタル発生時に、会員の皆さんが喜んでくれることを想像してのことと感じました。その甲斐あって、沢山のホタルが飛び交う様子を見ることが出来ました。ありがとうございました。

会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしています !! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための環境保全活動を行っています。

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

現在の会員数: 0155

事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp

夏の夜、谷津田の暗がりを飛び交うヘイケボタル。淡く儚いその光は、見る者にいろいろな思いを抱かせてくれますが、そこに豊かな生態系が形づくられている事の証でもあります。

今夏の天神谷津では、見応えのある数が飛び、観賞に訪れた多くの人達に感動を与えていました。それは、この一年間天神谷津の環境保全に関わって来た私達にとって、とても素晴らしいごほうびでもあるように思えますし、「さらに充実した環境を・・・」との意欲を持たせてくれるものです。

富里市内の小学生が大勢来てくれ、飛び交うホタルを見て歓声を上げていました。「子供にホタルを見せたい」という思いの親に連れられ、遠方からの親子も多く来て下さり、又、各地で活動に取り組んでいる、様々な団体の皆様も訪れて下さいました。

この特集ページでは、そのヘイケボタルと人々のにぎわいをお伝えできればと思います。

7/28・29 夏休み親子でホタル観賞ウォーキング

毎年好評の恒例イベントを、今年も開催。昨年申込者が殺到したため、今年は広報活動を控えましたが、それでもこの二日間で130人程の参加者がありました。この催しは、遠方から来て下さる方が多いのが特徴です。発生ピークと重なり、多くのホタルに出会い感激して頂けたようです。



7/27 富里第一小・親子ホタル観賞会

PTA主催によるホタル観賞会。子供29人と、保護者、教師24人の総勢51人の参加者。早めに集合し、暗くなるのを待っての観賞会となりました。

この日は、まさに発生ピークでした。



8/1 七栄地区子供会

子供達に大人気のホタル観賞。好評につき再度観賞の依頼があり、3回も行われた。ホタルを捕まえて不思議そうに優しく見つめる子供達の姿は、お母さん達にも心休まる一夜の出来事のようにです。



▲ヘイケボタル (写真:大場信義氏)

7/14 富里小サマーキャンプで谷津の生き物紹介



5、6年生65人を対象に谷津の生き物についてスライドショーで説明。途中の生き物名前当てクイズでは会場が盛り上がりしました。その後、事前に採取しておいたザリガニ、ドジョウ、サワガニ、カエルなどに触れるコーナーを設けて楽しんでもらいました。

最後に虫かごに入れたヘイケボタルを、館内を暗くして観賞。なお登場した生き物達は終了後、元の場所に返しました。



写真 鈴木恵一



▲竹灯籠

7/15 富里チャレンジクラブ

「これだけ整備されたホタル発生地に非常に驚きました。NPOの皆さんの努力は大変なもので、感謝したいと思います。誇りうる場所として周知していく方法をチャレンジクラブとして考えてみたい。たくさんのホタルを目の当たりにして感銘を受けました。ガイドの説明を受けて生態を知り、ホタルを違った観点で見る事が出来て興味深かった」(代表の藤井さん談)(子供4人を含む21人が参加)

8/3 環境学習講座の講師の皆さん

環境学習指導者養成講座の関係から、浦安市・千葉市の4名で天神谷津のヘイケボタルの観賞に出かけました。ホタルのやさしい光、整備が行き届いた谷津、観賞される方への丁寧な対応に、会の姿勢の素晴らしさが光りました。

7/18 「なりたウォーキングクラブ」

「湧き上がる」「群れ飛ぶ」という表現がありますが、まさにその通りのホタルが乱舞していました。お世話頂きましたNPOの皆さんには、日頃の努力に頭が下がります。来年も行きたいものです。(HPより掲載) 富里中央公園を出発して、ホタル発生地を巡るウォーキングで天神谷津も訪れました。(61人)



7/24 「四街道自然同好会」

四街道市で、ホタルやメダカなどの保護の他、幅広い活動を精力的に行っている「四街道自然同好会」の役員4名が、日中の現地視察の後、ホタル観賞。発生数の多さに驚かれていました。



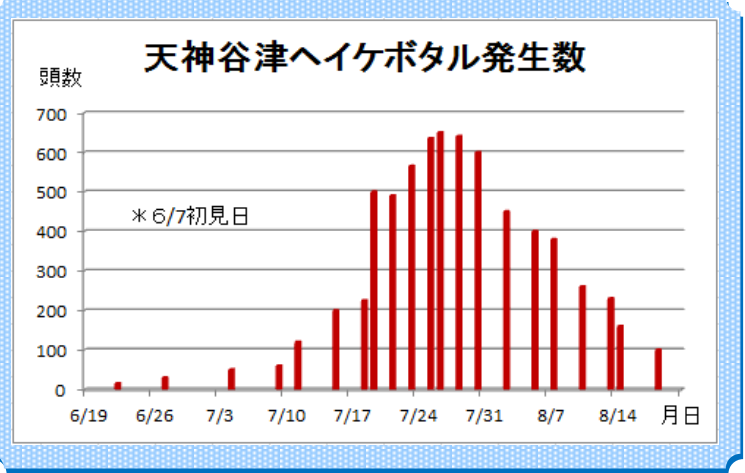
8/2 富里市農業士会

11人で今年も訪れて下さいました。鋭い質問が次々と飛んで来ました。「これだけの環境を守る事に農業士会としても協力しなければ・・・」との会長の秋元さんの言葉は心強いものでした。



7/19 「酒々井里山フォーラム」

お隣の酒々井町で里山整備活動に取り組んでいる「酒々井里山フォーラム」の皆さん10人が、天神谷津を視察されました。その後、場所を移して交流会。互いの現状、課題などを話し合い今後も交流して頂ける事となりました。



今年は、口コミで評判を聞きつけて多くの方が天神谷津を訪れましたが、その中にはルール違反、マナー違反をする方も散見されました。急遽、記名のお願い、情報源の聞き取り、ガイドの同伴などの対応をしました。

- (1) 多くの人に見てもらいたい。
- (2) 保護区域であり、生息環境を守る。
- (3) 私有地であり、むやみな立入は問題。

今後、増え続けるであろう来場者に対して、以上の三点のバランスの取れた対応策を考えなければならない時期かと思えます。何よりも地権者の皆様の意向を尊重して、事前申込み制などにより、何らかの入場制限をする必要があるのかも知れません。皆様のご意見をお聞かせ下さい。